



2023年1月18日

各位

会社名 株式会社 鈴木
代表者名 代表取締役社長 鈴木 教義
(コード:6785、東証プライム)
問合せ先 経理部長 本間 浩正
(TEL. 026-251-2600)

2023年6月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月9日に公表しました2023年6月期第2四半期累計期間連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年6月期第2四半期累計期間連結業績予想値の修正 (2022年7月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,425	1,542	1,540	998	69.46
今回修正予想 (B)	13,650	1,890	2,012	1,266	88.11
増減額 (B-A)	△775	347	472	268	
増減率 (%)	△5.4	22.5	30.6	26.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年6月期第2四半期)	13,056	1,554	1,610	922	64.2

(注) 当第1四半期連結会計期間より、売上原価から控除しておりました有償受給取引における受給品に含まれる標準スクラップ価額を「売上高」に含めて表示する方法に変更しております。前期第2四半期実績の「売上高」については、この表示方法の変更を反映させた組替え後の数字を記載しております。

2. 修正の理由

売上高については、部品セグメントのスマートフォン関連部品需要が減少したこと、機械セグメントの自動機器が購入部材の逼迫による影響を受けたことで予想を下回る見込みとなりました。

営業利益については、部品セグメントはスマートフォン関連部品の需要が減少したものの、産機向け部品等が好調に推移して全体の生産効率を押し上げました。また全社の経費圧縮により予想を上回る見込みとなりました。

経常利益については、営業利益の増加要因に加え、営業外収益で為替差益1億7千万円を計上する見込みとなりました。

なお、第3四半期以降の見通しについては現在精査しており、通期連結業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表することといたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上